



## 企業の『稼ぐ力』を担う技術支援機関として

所 長 久保 敦

県内企業の皆様には、かねてより工業技術センターの業務運営に御協力いただき、厚くお礼申し上げます。

4月1日付で工業技術センター所長に就任しました。よろしくお願いいたします。

さて、令和4年3月に改訂された「かごしま未来創造ビジョン」では、人口減少・少子高齢化などの従来課題に加え、新型コロナウイルス感染症拡大や社会経済情勢の変化等を踏まえ、鹿児島島の目指す姿や施策展開の基本方向が示されました。

ビジョンの柱の一つには、「企業の『稼ぐ力』の向上」が掲げられ、中でも「生産性と付加価値の向上による産業競争力の強化」に関する施策では、企業が有する独自の技術やノウハウなどの強みを生かした研究開発、製品開発等の支援を当センターが担うことが示されています。

当センターでも業務の基本方針を明らかにし、研究開発の方向性を示した「中期業務計画(期間:令和4～8年度)」を改訂しました。

業務の柱は、

- ① 企業ニーズに基づく技術支援
- ② 技術シーズの橋渡しによる県内産業の振興
- ③ 多様な連携によるものづくり支援

で、県内企業の工業技術に関する支援機関として取組を掲げております。

技術支援では、技術相談や依頼試験・分析、設備機器利用など、地域企業の技術課題解決に向けて迅速かつ丁寧な対応に努めます。

また、昨年度末に整備した「ものづくり企業」の設計や試作加工の「デジタル化」を支援するシステムや、電子機器の最新規格に対応した電波暗室等の利用拡大に努めます。

研究開発では、地域の「強み」を生かした商品の付加価値向上による差別化、国内外の市場を意識した新商品の開発に取り組む「地域資源付加価値創出」と生産性向上や高品質化及びコスト低減を図り、県内企業の競争力やものづくり基盤技術の強

化に取り組む「ものづくり基盤技術高度化」に定め、県内企業のニーズに対応した技術開発や製品開発に努めます。

今年度からの新規テーマとして「火山ガラス微粉末を用いた機能性建材及び化粧品原料の開発」や「逐次鍛造による局所増肉成形法の開発」など10テーマに取り組むこととし、地域資源等を活用した新産業分野への参入とデジタル技術の活用によるものづくりの基盤強化を図ります。

また、企業等との共同研究・受託研究については、昨年度は提案公募型受託研究3件を含む29件を実施しました。今年度も積極的に共同研究等を進めます。

昨年度の特許登録は、「イモ加工食品の製造方法」、「ろう付装置及びろう付方法」、「水硬性石灰及びその製造方法」の3件で、他の保有特許についても有効活用を図るため、知的財産活用推進員とも連携を図り、特許の実施許諾を意識した企業訪問を行うとともに、ホームページやメルマガ等で積極的にPR活動を行います。

これらの取組に加え、大学等の研究機関や産業支援機関、各種業界団体等とも緊密に連携しながら、企業が有する強みを生かした研究開発、製品開発等の支援を行います。

企業のニーズや時代の要請を的確に捉え、企業の『稼ぐ力』の向上に貢献できるよう、今後とも職員一同で取り組みますので、これからもより一層の御利用をお願いします。

### 《職員》

所 長	久保 敦
副 所 長	尾前 宏
研究主幹(生産技術担当)	南 晃
<b>庶務部</b>	
部長(兼)総務課長	中村 秀徳
専 門 員	竹下 浩平
主 査	岩下 照明